

平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社エフアンドエム
(コード番号 4771 大証ヘラクレス)
本 社 大阪府吹田市江坂町 1-23-38
代 表 者 名 代表取締役社長 森中 一郎
問 い 合 せ 先 取締役管理本部長 田辺 利夫
T E L 0 6 - 6 3 3 9 - 7 1 7 7

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,798	177	169	101	円 銭 706.96
今回修正予想 (B)	1,683	80	77	11	82.82
増 減 額 (B-A)	△115	△97	△92	△90	△624.14
増 減 率 (%)	△6.4	△54.2	△54.2	△88.3	△88.3
<ご参考>前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	1,796	212	212	167	1,124.81

(2) 個別業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,753	165	158	94	円 銭 661.05
今回修正予想 (B)	1,657	87	83	18	127.38
増 減 額 (B-A)	△96	△78	△75	△76	△533.67
増 減 率 (%)	△5.5	△47.2	△47.2	△80.7	△80.7
<ご参考>前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	1,751	210	210	164	1,107.10

II 平成 22 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,848	491	476	284	円 銭 1,978.35
今回修正予想 (B)	3,711	389	379	190	1,329.10
増減額 (B-A)	△137	△102	△97	△94	△649.25
増減率 (%)	△3.6	△20.7	△20.5	△32.8	△32.8
<ご参考> 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,701	480	474	293	1,999.66

(2) 個別業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,737	463	448	269	円 銭 1,873.32
今回修正予想 (B)	3,618	379	367	188	1,315.27
増減額 (B-A)	△119	△84	△81	△81	△558.05
増減率 (%)	△3.2	△18.1	△18.0	△29.8	△29.8
<ご参考> 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,595	446	440	272	1,854.70

III 業績予想修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間業績予想修正の理由

当グループにおける当第 2 四半期累計期間の連結売上高につきましては、当初予想に対して 1 億 15 百万円 (6.4%) 減少の 16 億 83 百万円となる見通しとなりました。これにはエフアンドエムクラブ事業における売上高が当初計画を 94 百万円下回る見込みであることに加え、連結子会社のエフアンドエムネット株式会社のグループ内取引比率が当初計画よりも増加したことが大きく影響しました。エフアンドエムクラブ事業では会員数を増加させる計画のもと、期首より営業人員を強化しておりましたところ、同事業の主要顧客である中小企業における経営環境の悪化の影響は、当初の想定よりも根深いものでありました。エフアンドエムクラブ事業の売上高は前年同期比では増加傾向に転じているものの、中小企業に対する逆風を克服するには至りませんでした。

連結売上高の修正理由を主因として、連結営業利益につきましては当初予想を 97 百万円 (54.2%) 下回る 80 百万円、連結経常利益につきましては当初予想を 92 百万円 (54.2%) 下回る 77 百万円となる見通しです。

連結四半期純利益につきましては、上記の変動要因に加え、税金費用の負担が一時的に増加しているため当初予想を 90 百万円 (88.3%) 下回る 11 百万円となる見通しです。

1 株当たり連結四半期純利益につきましては、上記の変動要因を受け、当初予想を 624 円 13 銭 (88.3%) 下回る 82 円 82 銭となる見通しです。

また、当第 2 四半期累計期間の個別業績につきましては、上記のエフアンドエムクラブ事業における売上高減少の見込みを主因として、I 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日) (2) 個別業績 の表に記載のとおりの変動となる見込みです。

(2) 通期業績予想修正の理由

当グループにおける通期連結売上高につきましては、当初予想に対して1億37百万円(3.6%)減少の37億11百万円となる見通しとなりました。これは(1)第2四半期累計期間業績予想修正の理由に記載のとおり、エフアンドエムクラブ事業の売上高が当初計画を下回って推移しており、早期の好転は見込めない一方、アウトソーシング事業の売上高が計画を上回って推移しており、下半期はそのプラス作用が大きくなることが予想されるため、上記の修正幅にとどまる見通しです。

連結売上高の修正理由を主因として、連結営業利益につきましては当初予想を102百万円(20.7%)下回る3億89百万円、連結経常利益につきましては当初予想を97百万円(20.5%)下回る3億79百万円となる見通しです。

連結当期純利益につきましては、上記の変動要因に加え、税金費用の負担が一時的に増加しているため当初予想を94百万円(32.8%)下回る1億90百万円となる見通しです。

1株当たり連結当期純利益につきましては、上記の変動要因を受け、当初予想を649円25銭(32.8%)下回る1,329円10銭となる見通しです。

また、平成22年3月期通期個別業績につきましては、上記のエフアンドエムクラブ事業における売上高減少の見込みを主因として、Ⅱ 平成22年3月期通期業績予想の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)(2)個別業績の表に記載のとおりの変動となる見込みです。

以上